



令和2年 岐阜県鉱工業指数(年報)

【平成27年基準】

1 概況

生産指数	90.0	前年比14.8%の低下
出荷指数	87.7	前年比16.9%の低下
在庫指数	111.7	前年比0.2%の上昇

令和2年1年間の生産指数は、電気機械工業が上昇したものの、輸送機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業等が低下したため、前年比14.8%の低下となった。

また、出荷指数は、輸送機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業等が低下したため16.9%の低下となり、在庫指数は、化学工業、窯業・土石製品工業等が上昇したため0.2%の上昇となった。

(図-1)

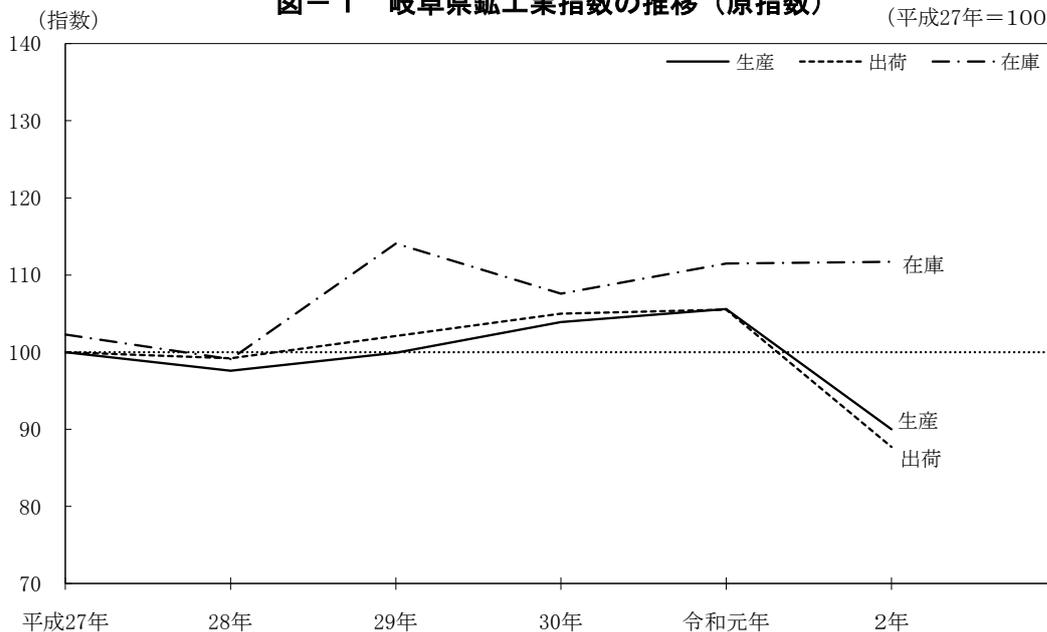
(平成27年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)
平成27年	100.0	△1.2	100.0	△0.2	102.3	4.4
28	97.6	△2.4	99.2	△0.8	99.1	△3.1
29	99.9	2.4	102.1	2.9	114.1	15.1
30	103.9	4.0	105.0	2.8	107.6	△5.7
令和元	105.6	1.6	105.5	0.5	111.5	3.6
2	90.0	△14.8	87.7	△16.9	111.7	0.2

(注) 年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)

(平成27年=100)

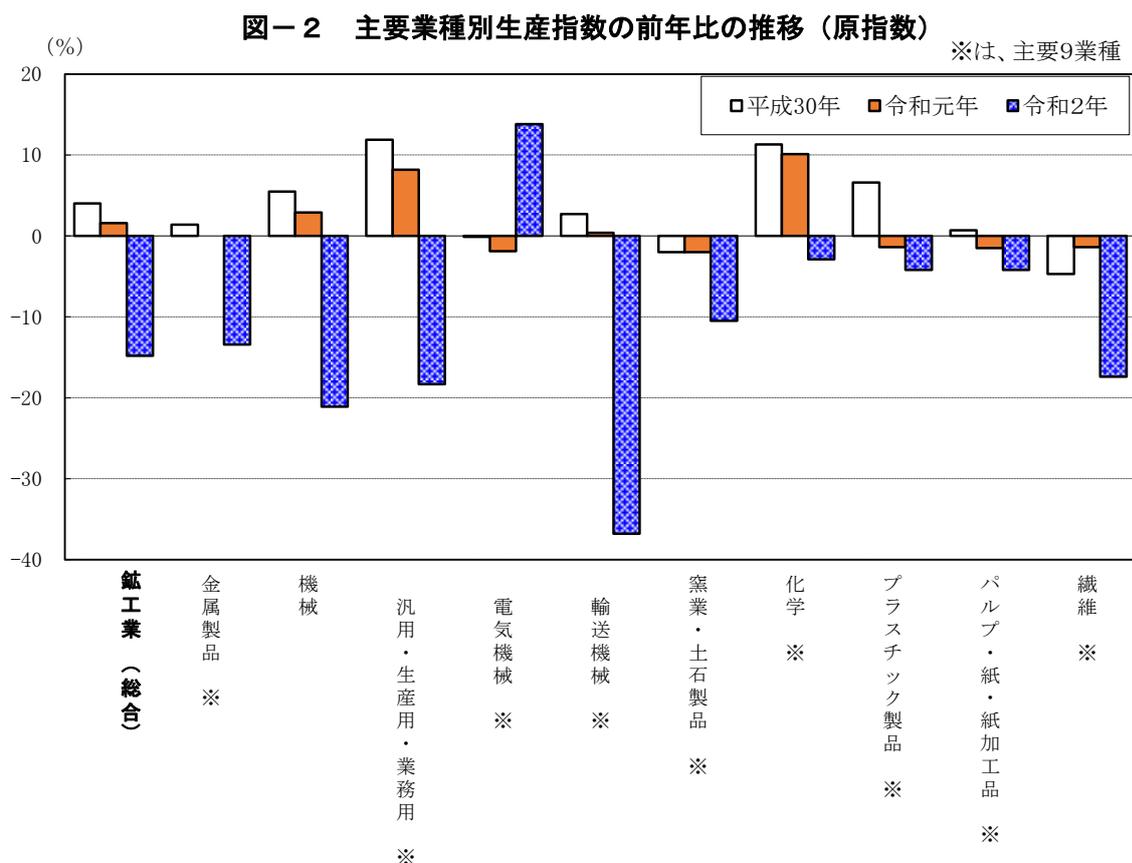


2 主要業種別生産指数の前年比

主要9業種(※)の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、電気機械工業(前年比13.8%)となった。

一方、低下したのは、金属製品工業(同△13.4%)、汎用・生産用・業務用機械工業(同△18.3%)、輸送機械工業(同△36.8%)、窯業・土石製品工業(同△10.5%)、化学工業(同△2.9%)、プラスチック製品工業(同△4.2%)、パルプ・紙・紙加工品工業(同△4.2%)、繊維工業(同△17.4%)の8業種となった。

(図-2、表-1)



3 全国、中部との生産指数の比較

令和2年の全国における生産指数は、前年比10.4%の低下であった。また、中部においては、13.0%の低下であった。

(平成27年=100)

区分	岐阜県		全国		中部	
	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)
平成27年	100.0	△1.2	100.0	△1.2	100.0	△2.4
28	97.6	△2.4	100.0	0.0	100.0	0.0
29	99.9	2.4	103.1	3.1	105.7	5.7
30	103.9	4.0	104.2	1.1	107.5	1.7
令和元	105.6	1.6	101.1	△3.0	104.5	△2.8
2	90.0	△14.8	90.6	△10.4	90.9	△13.0

(注)「中部」とは、中部経済産業局管内5県(愛知、三重、石川、富山、岐阜)

資料: 経済産業省、中部経済産業局

<令和2年 岐阜県鉱工業指数の詳細について>

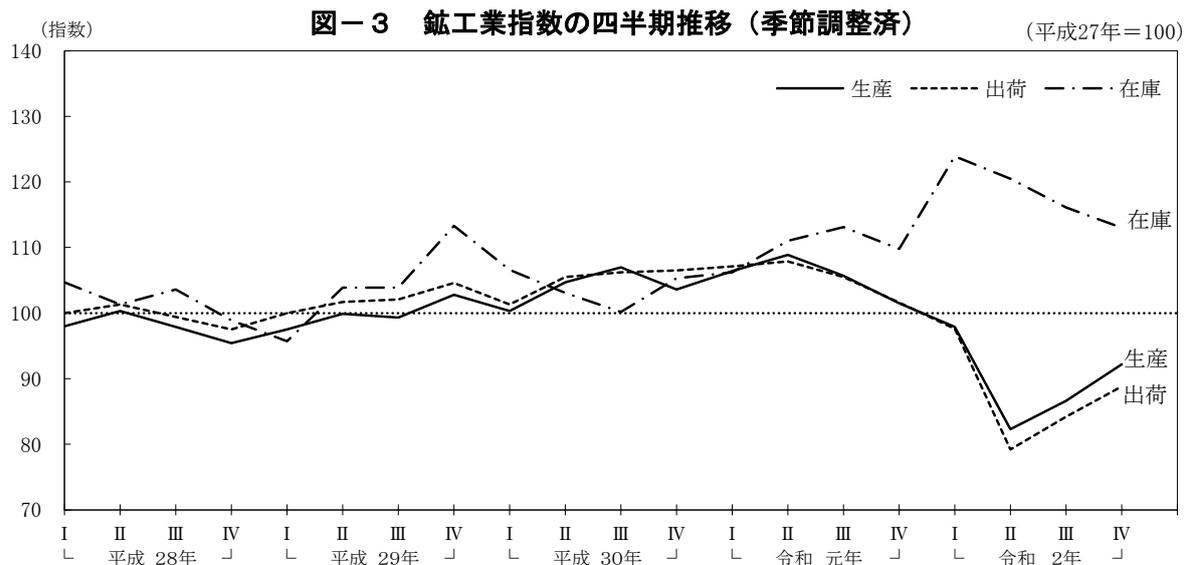
1 鉱工業指数の四半期推移

令和2年の生産指数を四半期ごとに比べると、第1期は3.5%、第2期は15.9%の低下、第3期は5.2%、第4期は6.5%の上昇となった。

また、出荷指数は、第1期、第2期が低下、第3期、第4期が上昇となった。

なお、在庫指数は第1期が上昇、第2期から第4期が低下となった。

(図-3、表-2)

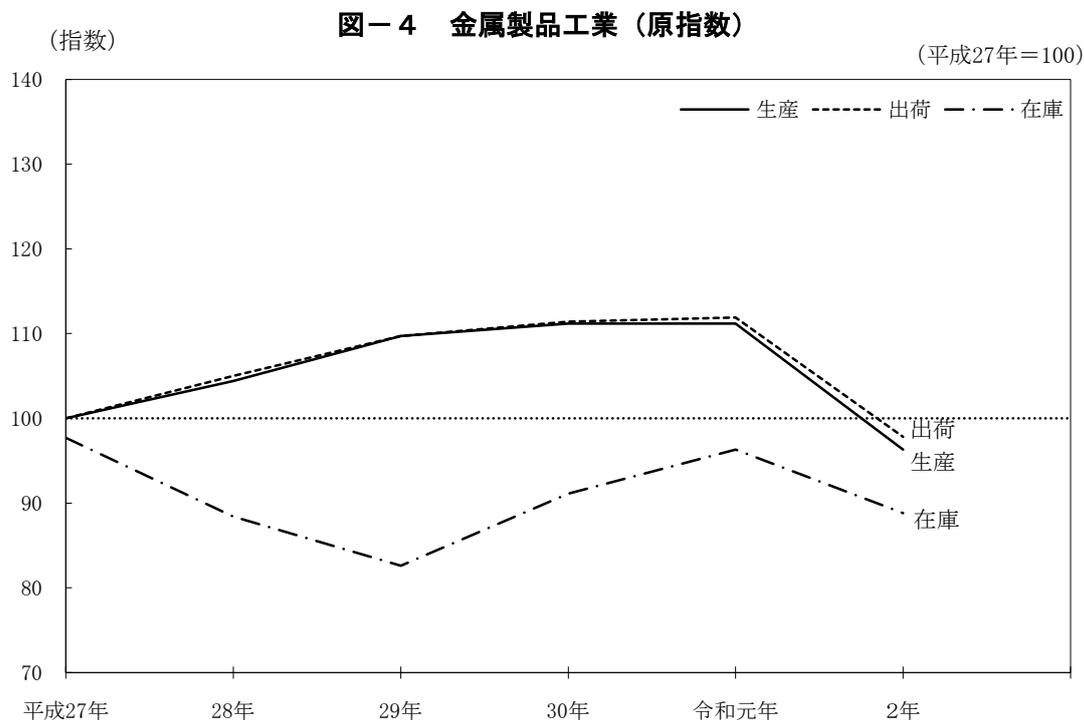


2 主要業種別指数の動向

(1) 金属製品工業

- ・ 生産指数は、ボルト・ナット等が減少したため、前年比13.4%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、ボルト・ナット等が減少したため、前年比12.6%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、はさみ等が減少したため、前年比7.8%の低下となった。

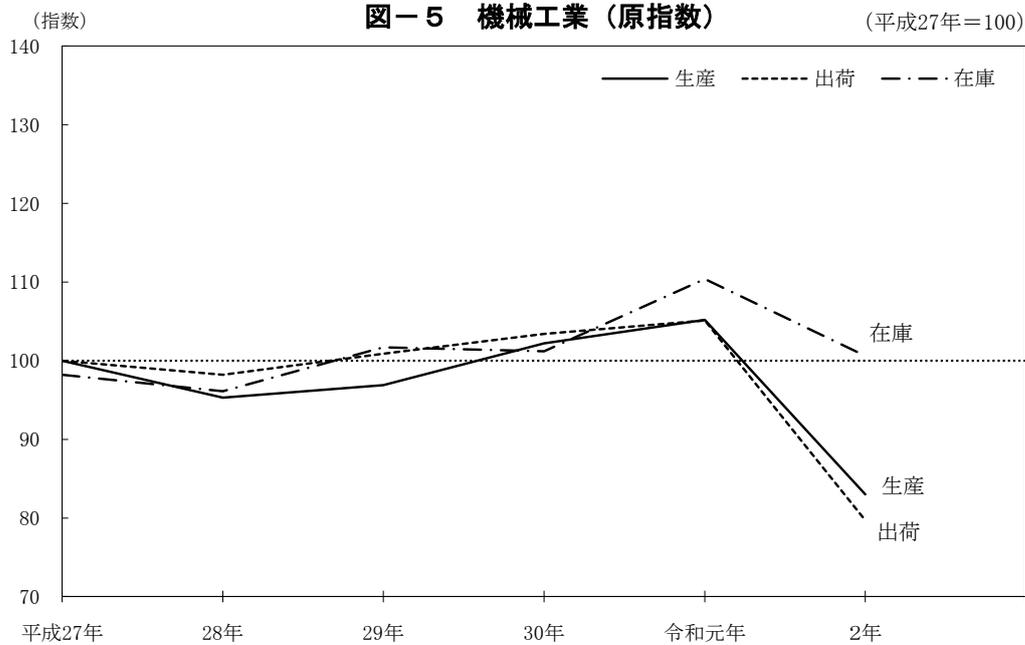
(図-4、表-1)



(2) 機械工業

- ・ 生産指数は、電気機械工業が上昇したものの、輸送機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業が低下したため、前年比21.1%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、前年比24.2%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、前年比8.9%の低下となった。

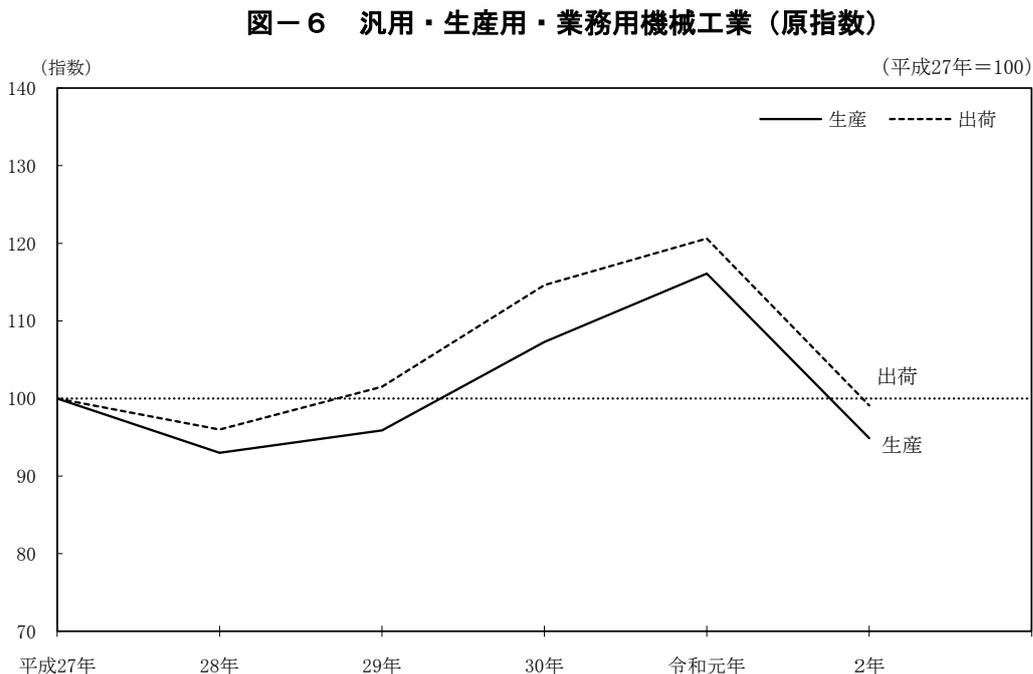
(図-5、表-1)



(2) -ア 汎用・生産用・業務用機械工業

- ・ 生産指数は、油圧機器等が減少したため、前年比18.3%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、油圧機器等が減少したため、前年比17.8%の低下となった。

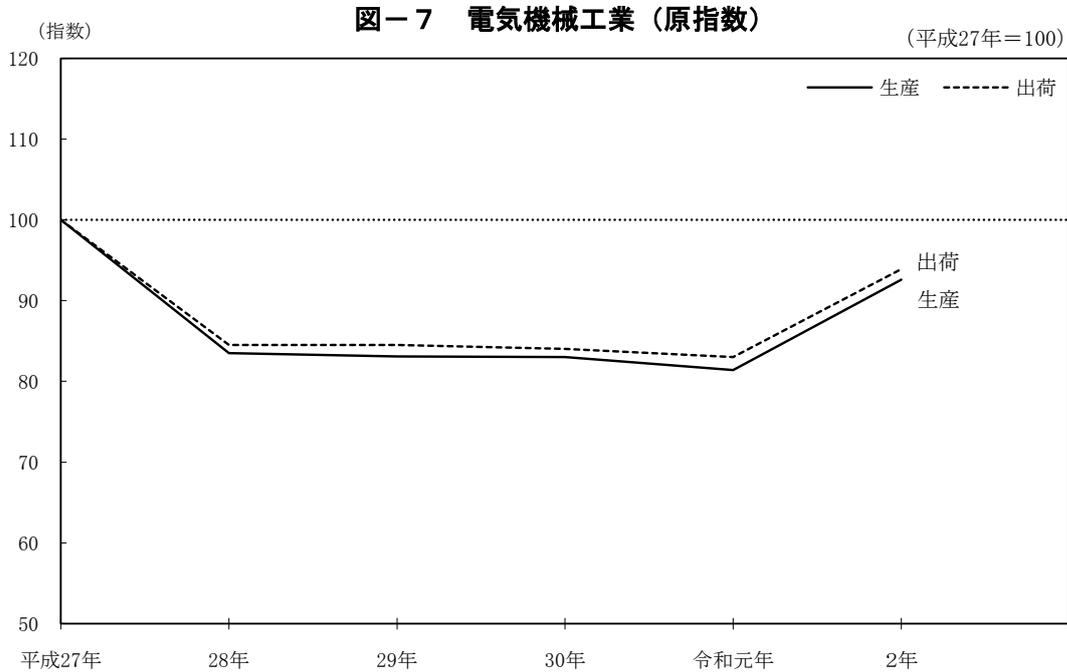
(図-6、表-1)



(2) ーイ 電気機械工業

- ・ 生産指数は、電子回路基板等が増加したため、前年比13.8%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、電子回路基板等が増加したため、前年比13.1%の上昇となった。

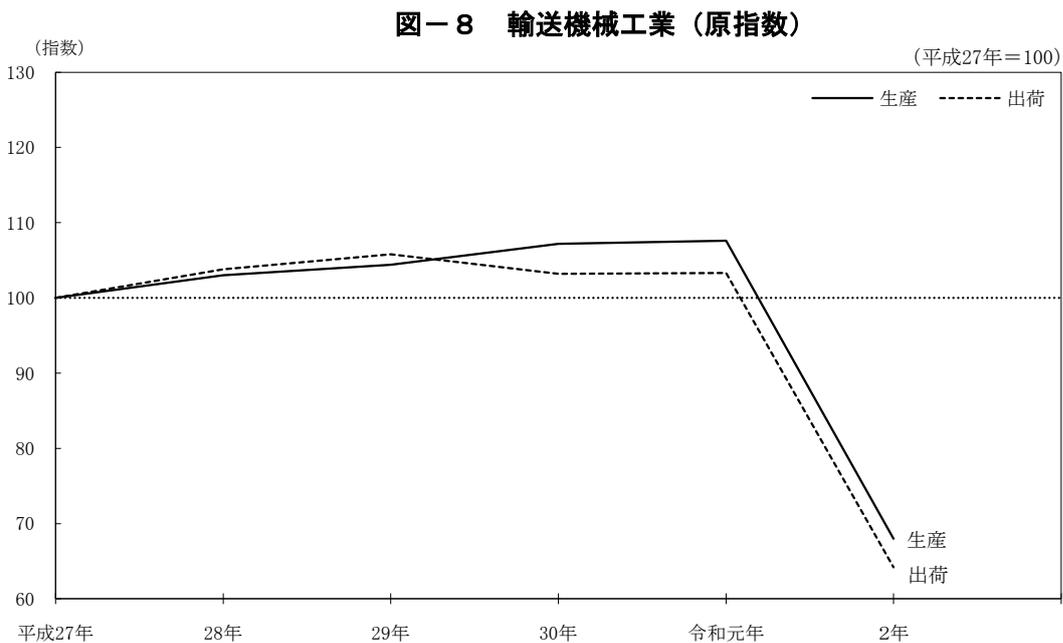
(図-7、表-1)



(2) ーウ 輸送機械工業

- ・ 生産指数は、前年比36.8%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、前年比37.9%の低下となった。

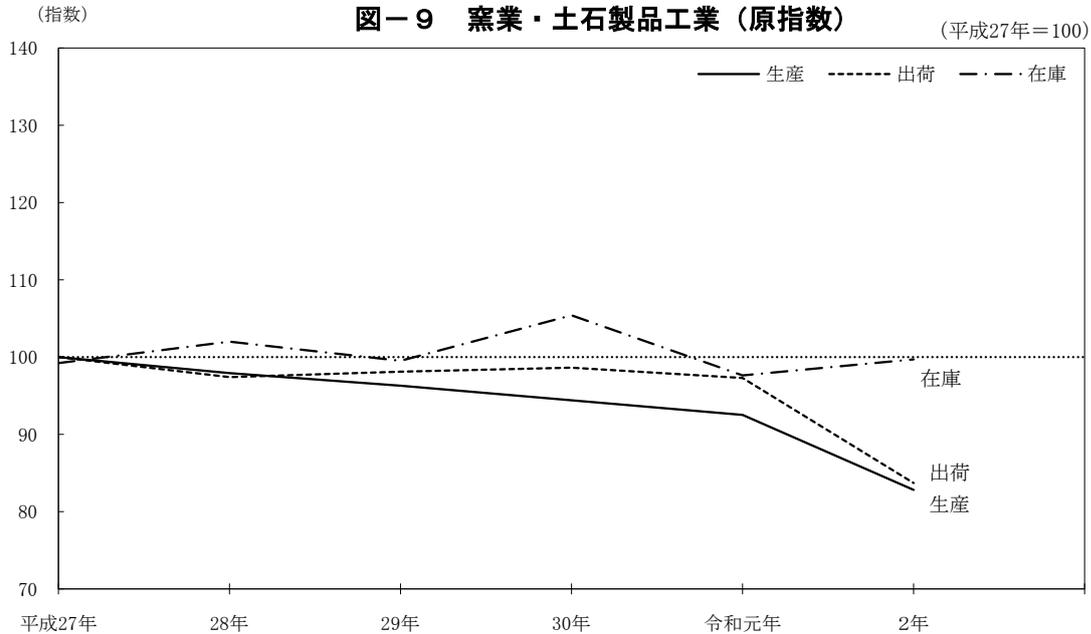
(図-8、表-1)



(3) 窯業・土石製品工業

- ・ 生産指数は、タイル（陶磁器製タイル）等が減少したため、前年比10.5%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が減少したため、前年比14.0%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が増加したため、前年比2.2%の上昇となった。

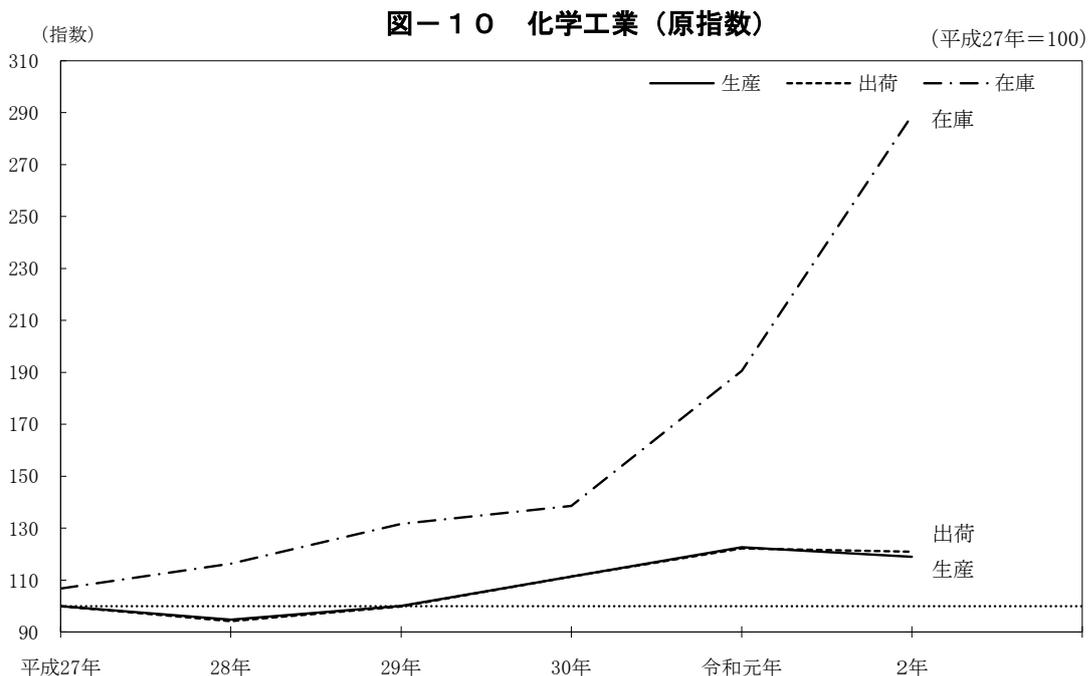
(図-9、表-1)



(4) 化学工業

- ・ 生産指数は、前年比2.9%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、前年比1.1%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、前年比51.7%の上昇となった。

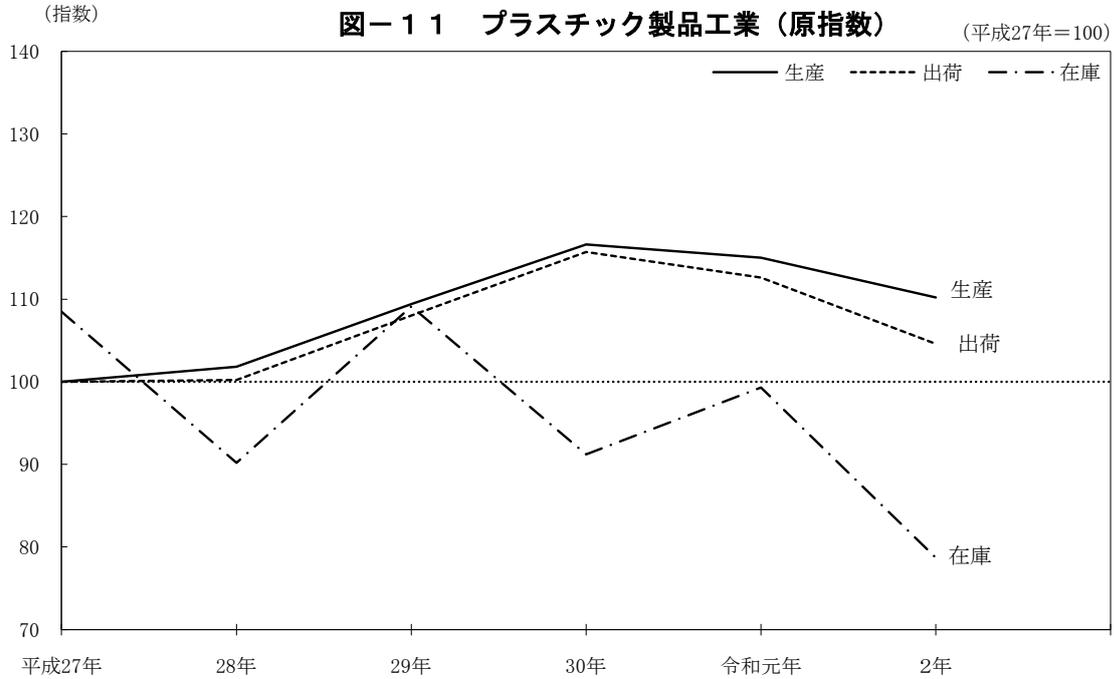
(図-10、表-1)



(5) プラスチック製品工業

- ・ 生産指数は、プラスチック製機械器具部品等が減少したため、前年比4.2%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、プラスチック製機械器具部品等が減少したため、前年比7.1%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、プラスチック製機械器具部品等が減少したため、前年比20.7%の低下となった。

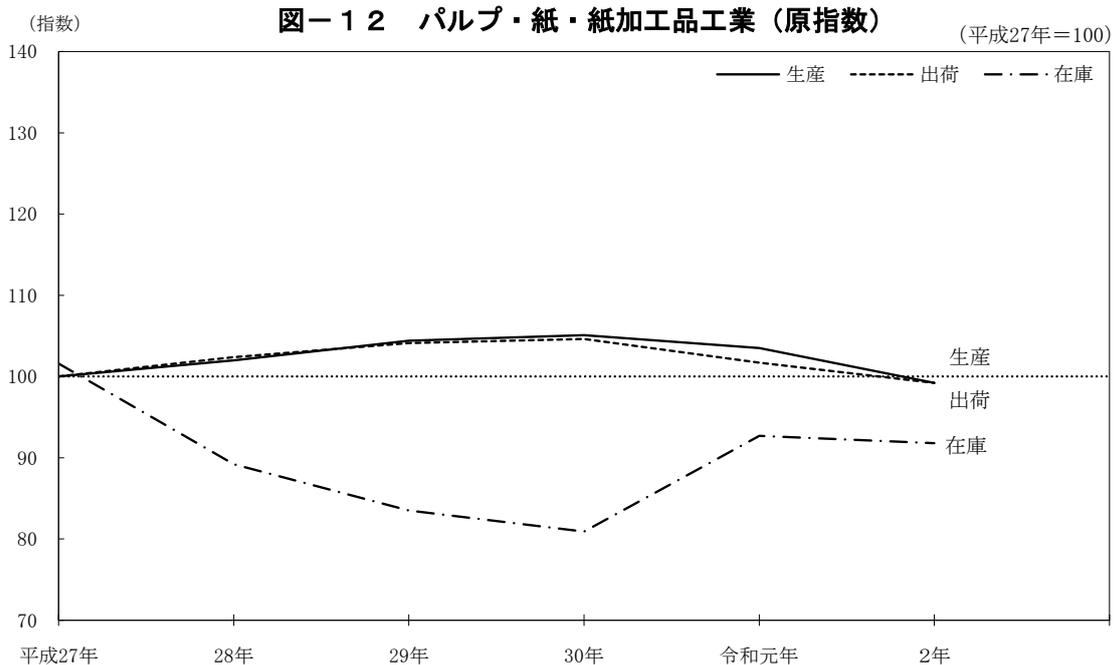
(図-11、表-1)



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・ 生産指数は、段ボール等が減少したため、前年比4.2%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、段ボール等が減少したため、前年比2.5%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、段ボール原紙等が減少したため、前年比1.0%の低下となった。

(図-12、表-1)



(7) 繊維工業

- ・ 生産指数は、不織布等が減少したため、前年比17.4%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、不織布等が減少したため、前年比17.2%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、合成繊維糸等が減少したため、前年比3.8%の低下となった。

(図-13、表-1)

